

曾我 英子 (Soga Eiko)

2020～2022 年度奨学生

オックスフォード大学 芸術学部 博士課程

1. 北海道様似町での体験と発見

オックスフォード大学博士課程の研究の一環として、2020 年 9 月から 2021 年 4 月まで北海道の様似町に滞在しました。その期間、アイヌ女性の熊谷カネさんから四季折々の様似アイヌ料理を学びました。伝統的なアイヌ料理は自然の循環の理解と尊敬の意を持つことが大切で、人間中心的な考えでは成り立たない事を深く学びました。体験を基に五感を通して得る情報を、どの様に表現をし共有をしたら、自然環境とより良い関係を社会が築き上げることに繋がる知識に結びつくのか探究をしました。

様々な体験をした中でも、特に印象的だったことは様似の自然環境です。様似町は、襟裳岬から車で約 30 分ほどの所に位置しますが、海と山々が常に一目に広がります。アポイ岳が特に有名で、山が「幌満欅櫻岩」と呼ばれているかんらん岩でてきており、特殊な自然体系となっています。特殊な土壌条件などによって育まれた固有の高山植物群落、そして、海岸の特殊な地形が天然の良港となり古くから交易の拠点として栄えてきた歴史と文化があります。海外からも、研究者が訪れるほどです。昔からアイヌの人々にとっても大切な山であり、伝承が残っています。また日高昆布でも有名なだけあって、私が住んだ家の目の前に広がる海岸には、大量の昆布が打ち上がっている景色を見ることが多々ありました。

熊谷さんの貴重な知識や豊かな自然に溢れる様似町ですが、資本主義や男性中心主義社会が生み出した現代の人々が無意識に抱えている「あたりまえ」の価値観が、環境の維持に危機をもたらしている現状も目の当たりにしました。自然と人間の多様性を受け入れることのできる社会と文化環境が、早く発展することを日々願います。環境改善の一つとして、観光業の在り方が、それぞれ地域の自然環境と人々の生活を尊重した形にならなければないと感じています。そして、北海道に訪れる一人でも多くの方が、様似町の様な町を訪れる事と、良い変化が生まれると信じています。



2. 奨学生期間中にできたこと・将来計画

日本の芸術と女性的価値観が、平和で豊かな社会作りに貢献することを目標に留学をしています。世界で自然破壊が心配される中、先住民の人々が現在まで守ってきた文化的価値観が見直されています。アイヌ文化の存在は、国内での認知度がここ数年で高まりました。しかし近代化に伴い、世界では資本主義

中心や西洋中心の価値が主流となることで、文化保存や人権問題を解決することに関しては前進したものの、人々の心や目に見えにくい細部のケアをすることは見過ごされ続けています。10ヶ月間、北海道で実地調査を行うことで、社会の矛盾や改善可能な課題が多く残っている事を目の当たりにしました。同時に、アイヌ文化を始め日本で暮らす人々の素晴らしい生き方、考え方、自然環境にも触れました。そこで、より良い社会を作るためには、現在でも大切にされている歴史が育んできたアイヌ文化の繊細さや自然を敬う姿勢を、再度認識し示すことが重要だと感じてきました。私にとって芸術の持つ社会的役割は、人に寄り添い時代や社会情勢の細部を記録し、新しい疑問を提示し、社会を改善することです。芸術家として、また日本とイギリスの文化を理解できる立場を生かして、既存の価値観とは異なる視座を提供できるように研究を続け、現在は研究結果をまとめています。その間、今まで行なってきたアートの分野を超えて、文化、歴史や社会を総合的に考えることのできる発表方法を模索してきました。その結果 2021 年は、研究過程を日本とイギリスで展覧会として、またオンラインを通して世界中の人々と共有することができました。

展覧会：
駒込倉庫「それは、つまり物を以って詩をつくることである」グループ展
<https://www.komagomesoko.com>

市原アートミックス
<https://ichihara-artmix.jp/artist/1493>

オックスフォード
https://www.torch.ox.ac.uk/event/e_mpty-shop-windows

オンラインイベント：
Tonkori: Musical Conservations with Oki
<https://www.youtube.com/watch?v=D6Qni7UZ4K0>

Marebrew's Voice
<https://www.youtube.com/watch?v=6zl5oYrPZ7A>

Relabelling Project at ピットリバーズ博物館
<https://www.youtube.com/watch?v=IoAPHVZMJnU>

2020 年からは、私の研究内容を生かした授業を、イギリス、ドイツ、日本の大学で講師として生徒の皆さんに紹介する機会にも恵まれました。これからも芸術の目線を通して、自然と人間の多様性が尊重される知識の共有と繁栄に注目をし、貢献活動を続けて行きたいと思います。

以上